

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第2回こども部会				
(2) 開催日時	平成30年6月15日（金）9：30～11：30				
(3) 開催場所	消費者生活センター 第6集会室				
(4) 出席した委員、事務局等	委員 <span style="float:right">&lt;敬称略&gt;</span>				
	宮崎 渉	今岡 久美子	藤野 絵里子	福田 功志	谷村 淳子
	石川 智春	宮嶋 祐紀子	佐藤 渉	小池 優子	棧敷 洋子
	小野 英次郎	馬場 衣久美	島村 勝		
	区職員				
	秋山 亮	本多 あゆみ	新屋 敬子	大島 涼	田島 吉延
	事務局：林 俊子、森崎 恵里、西澤 佳佑、滝本 裕弼				
	欠席者：志村 陽子、吉田 紀代美、野澤 景子、大岩 香代子、小鳥 彰子、関 香穂利				
(5) 内容・要旨	<p>1 港特別支援学校より 第1回こども部会にて配布した自己紹介シートに記載された内容に誤りがあったことについて、お詫と訂正があった。</p> <p>2 部会長挨拶 こども部会を進めていくにあたり、みなさんからの意見を反映し、課題解決に活かしていきたいと考えています。本日の検討課題においても様々な意見を出し合えれば良いと考えています。</p> <p>3 連絡・報告事項</p> <p>(1) 各委員からの情報提供</p> <p>① 障がい者総合サポートセンター主催人材育成研修について 7月2日（月）に障がい者総合サポートセンターにて高次脳機能障がいに関する支援者向けの研修を実施する。</p> <p>(2) 事務局からの連絡事項</p> <p>① 合同部会の実施について 9月4日か5日の午前中に実施予定。6月27日の運営会議にて実施日を確定することになる。</p> <p>② 就労移行支援事業所連絡会・情報交換会について 6月26日に障がい者総合サポートセンターにて実施予定。区内の就労移行支援事業所より、それぞれの事業所の特色などを説明する。支援者向けの開催となるが、支援者同行にて当事者の参加も可能。</p> <p>③ 品川区の子ども若者セミナーの情報提供 6月30日に開催予定のセミナーについて情報提供。</p> <p>4 本日の検討事項</p> <p>(1) 30年度の検討課題について</p> <p>① 発達支援マップの実用に向けて</p>				

29年度のこども部会にて作成した「発達支援マップ」を「サポートブックかけはし」と合わせた活用も含めて検証していくことを確認した。

「サポートブックかけはし」については、発達シンポジウムや発達支援応援フェア等で情報提供している他、児童館でも保護者向けの学習会を企画している。また配布場所は障害福祉課、地域健康課等の各窓口で行っている。しかし、そもそも「サポートブックかけはし」を知る機会と手に入れる機会が少ない印象がある。

特別支援学校でも、活用している保護者は少ない。現在、特別支援学校では、就学支援シートの情報をもとに、学校生活支援シートを作成している。学校生活支援シートについても有効的に活用できているかの検証が必要である。

「サポートブックかけはし」のようなツールを他の自治体で、有効的に活用できている事例もある。そういった自治体の取り組みを学ぶ機会があってもよい。

「サポートブックかけはし」は保護者が母子手帳の延長のように活用できる仕組みとなっている。一方で、東京都教育委員会では学校生活支援シートの他に学校生活支援ファイルというものがある。学校生活支援ファイルは保護者と教育者が相談して作成するツールである。

「サポートブックかけはし」と「学校生活支援ファイル」双方を合わせ、学校の資料も追加していけるような活用ができると良い。

7月のこども部会にて、上記の内容を含め検証していく。

## ② 地域課題の検討・課題解決に向けた事例検討

10月は移動支援について、11月は重症心身障がい児・医療的ケア児について実施する予定。

10月は「移動支援利用に関する、家族・学校・関係機関との連携」をテーマに検討する。

「連携」とひと言で言っても、知りたい情報は場面により異なる。学校や通所施設での様子を情報共有することは支援を行っていく上で必要なことである。家族・本人のその時々々の目標や課題、想いを共有する方法も検討していけると良い。

また、情報を伝える側と受け取る側の、伝え方・受け取り方の整理も必要。伝える側が必ず伝えなければいけないということでもなく、受け取る側も聞きにくい姿勢や工夫が必要な面もある。

移動支援の支援者としては、連絡帳を確認するタイミングが確保しづらいという課題もあるが、学校や各支援機関の連絡帳を積極的に活用することも検証していく。

さらに、移動支援が社会参加の目的で利用できないことや、移動支援の給付のしくみの検証も必要。学校としては、移動支援について

の必要性を保護者と共有して申請を促すが、地域福祉課への申請時点で却下されることがある。保護者としても一度申請が却下されると支援を受けることに対して後ろ向きになってしまう現状があり、課題となっている。

11月は「重症心身障がい児・医療的ケア児の地域生活」について事例検討をする。東京都障害者・障害児施策推進計画においても「医療的ケア児に対する支援のための体制整備」等が明記されたことや、障がい者総合サポートセンターの増築工事において、医療的ケア児・者にも対応した短期入所サービスが想定されていることから、関心度も上がるのが想定される。

事例検討を予定しているが、ゲストスピーカーを呼び勉強会形式で実施しても良い。

重症心身障がい児・医療的ケア児の中でも、呼吸器系のケアが必要な方は重症度が高いと言われている。こどもへの支援についての検証も必要があるが、保護者のレスパイトの必要性についても検証が必要。

#### ③ 児童発達支援地域ネットワーク会議との連携

平成24年4月の児童福祉法の改正により、児童発達支援や放課後等デイサービスが開始された。児童発達支援地域ネットワーク会議は平成25年より区内の放課後等デイサービス等が集まり、大田区の支援力の強化を目的に発足した。

今年度も12月に児童発達支援地域ネットワーク会議との合同学習会を行いたいと考えている。

#### ④ 障がい施策推進プラン・子ども子育てかがやきプランの確認

プランの検証については、施策推進会議で行うことになっているが、こども部会でも内容の確認をしておく必要がある。各委員の立場で内容を確認していく。

#### (2) 年間スケジュールの確認

(1)を受け、それぞれの検討課題を年間の開催スケジュールに当てはめ、年間予定を確認した。

また、発達支援マップについては、11月17日の発達支援応援フェアにて説明者側が活用し、検証していく。

#### 5 次回日程

平成30年7月6日(金) 9時30分～11時30分

場所 本庁舎 902会議室